

地域や学校のつながりを大切にしていきたい



公文さん 子どもは高校生一人と中学生二人で、全員地元小学校です。香美市には公立大学まで教育機関がそろって、小学校と大学が連携して地域学習を行うなどさまざまな教育に熱心です。地元から高知工科大学に進む子どもを育てる取組もあります。仕事柄、移住促進の話をしている際にも、この連携した教育体制はおすすめています。

上村さん 小学校との関わり、他、山田高校とも2年ほど前から関わりを持っています。防災イベントに協力していただいた縁で、お互いのイベントを手伝う関係になっています。

近藤さん どの学校も特色を

充実の教育環境

防災を通じて地域や学校と関わってきたい



出した教育に取り組んでいて、地域住民と連携した体験学習や、地元食材をつかった食育など、魅力的な授業がたくさん。学校を訪問して話を聞いたら、校長先生の学校自慢が止まりませんでした。

地域との関わり

辻井さん 上の子が小学一年生なんです。学校と地域の関わりが強いですね。夏休みにサマースクールという、山田高校が主となって異年齢で交流する機会を作ってくれた。中学生から大学生、地域の方とも触れ合えるって、恵まれた環境ですね。引越してきた私たちが地域に馴染

生活の利便性が子育て中の私にはありがたいです



辻井さん そういった講座や

上村さん 香美市は、多地域の人が集まる大学がある環境が魅力だと思います。私は県外出身ですが、進学を機に地域の魅力を知ったことで、香美市で教師の夢も叶えたいと思うようになりました。

暮らしも仕事も両方を充実させる輪を広げたい



辻井さん 地域に馴染む学校があつて、地域の方のさまざまな力を活かしている環境がある場所ですよ。これから地域の力を使って、子どもたちを育てるまちなになったらいいなと思います。

近藤さん 移住者の方たちは、仕事と暮らし両方を大切にしている方が多いと感じます。好きなことを仕事にしたり、普段は買っているものを自分で作ってみたり。これって田舎だからこそ実現できるライフスタイルですよ。そんな移住者のみなさんや地域のみなさんと一緒に、現代に合った香美市らしい暮らしを創造していければと思っています。



NPO法人いなかみ
近藤 純次さん

愛媛県出身。高知市内での就職を経て香美市へ。現在は移住定住交流センターにて、移住者サポートを行う。

高知工科大学2回生
上村 裕之さん

兵庫県出身。大学ではプログラミングを専攻。数学教師をめざしながら、防災ボランティア団体に所属する。

香北町移住者
辻井 幸さん

神奈川県出身。東日本大震災を経験したことで住まいや暮らしの価値観が変わり、家族で四国へ移住した。

香美市役所定住推進課
公文 直樹さん

物部町出身。子どもの頃から過ごしてきた郷土で、市役所職員として定住促進に励む毎日。家族5人暮らし。

誌上座談会

香美市で暮らす
魅力語り合う

香美市の住み心地

上村さん 私は大学入学を機に香美市にきました。まだ住んで2年目ですが、人柄があたたかいと感じています。釣りなど自然の楽しみ方も分かってきたところです。

辻井さん 私は最初、徳島県に移住しました。覚悟の上ではあったものの、子どもがいない地域だったため、子育ての難しさを感じていました。そんな時、香美市の子育て環境に惹かれて、空き家バンクで家を見つけることができたため今に至ります。

近藤さん 私は土佐山田町で暮らしていますが、子育ての利便性は高いですよ。自然も街も近くあつて、学校も

病院も近い。地域の方が子どもに声かけをしてくれるなどの関わりもあります。

公文さん 私の住む物部町は山間地域ですが、四季の移ろいを体感できること、近藤さんと同じく地域の方が子どもをよく見てくれる安心感が魅力です。地域の方々の顔が分かる、ちょうどいい故郷だと思います。商店街や診療所、郵便局や農協支所から銀行代理店もあつて、生活の不便はないですね。

辻井さん 産後すぐに車であちこち移動しないとけない生活は厳しいと考えていたのですが、今の住まいなら何でも徒歩圏で済みます。本当に助かります。

会場は
コチラ！

香美市立
移住定住
交流センター

平成27年7月にオープンした、香美市の移住相談窓口となる施設です。旧佐岡保育園の園舎をそのまま利用しており、広いホールや園庭などの交流スペースも豊富。地域住民や移住者との交流、地域の集いなど、さまざまな拠点として活用されています。



住民のみなさんが描くそれぞれの夢を伺うことができました。
生活の場として、故郷として、まだまだ香美市の可能性は広がるばかりです。